

令和4年度学校基本調査結果(兵庫県)の概要

I 学校調査

1 幼稚園

(1) 園数 [表1、統計表1・22]

ア 園数は446園で、前年度より15園減少している。

イ 設置者別では、国立2園(構成比0.4%)、公立260園(同58.3%)、私立184園(同41.3%)である。

表1 幼稚園の学校数及び学級数 (園、学級)

区分	学 校 数			学級数	
	国立	公立	私立		
平成30年度	532	2	331	199	2,298
令和元	505	2	307	196	2,191
2	473	2	278	193	2,089
3	461	2	270	189	2,002
4	446	2	260	184	1,943

(2) 学級数 [表1、統計表9・22]

ア 学級数は1,943学級で、前年度より59学級減少している。

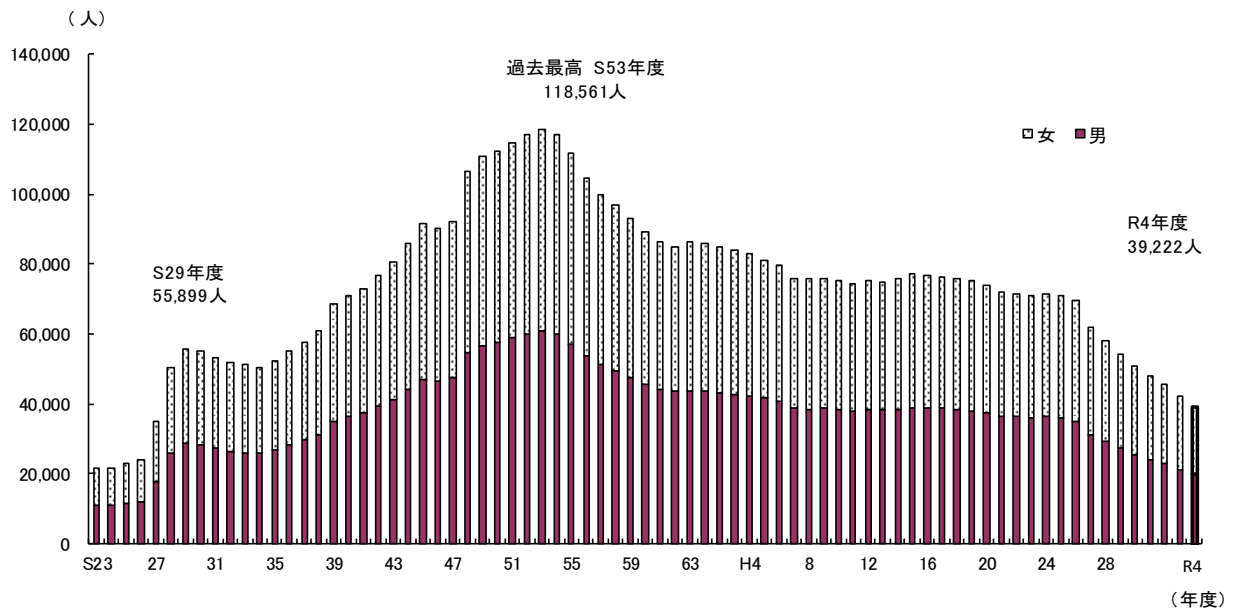
イ 設置者別では、国立12学級(構成比0.6%)、公立663学級(同34.1%)、私立1,268学級(同65.3%)である。

(3) 園児数 [表2、図1、統計表11・22・23]

ア 園児数は39,222人(男19,860人、女19,362人)で、前年度より3,042人(7.2%)減少している。

イ 年齢別では、3歳児10,606人、4歳児13,478人、5歳児15,138人で、前年度より3歳児は670人、4歳児は1,319人、5歳児は1,053人それぞれ減少している。

図1 幼稚園の園児数の推移



(4) 修了者数 [表2、統計表22・27・31]

ア 修了者数は16,252人で、前年度より1,254人(7.2%)減少している。

イ 本年度の小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する本年3月の幼稚園修了者数の比率は**36.6%**で、前年度より**2.2**ポイント低下している。

表2 幼稚園の園児数及び修了者数 (人、%)

区分	園児数					教員(本務者)1人当たりの園児数	修了者数	小学校第1学年児童数に対する幼稚園修了者数の比率※	教員数(本務者)			
	男	女	3歳児	4歳児	5歳児				男	女		
平成30年度	50,780	25,733	25,047	11,739	18,670	20,371	12.4	22,292	47.0	4,108	233	3,875
令和元	48,033	24,245	23,788	11,797	17,382	18,854	11.9	20,439	44.0	4,029	227	3,802
2	45,514	22,909	22,605	12,042	16,006	17,466	11.6	19,023	41.8	3,939	204	3,735
3	42,264	21,314	20,950	11,276	14,797	16,191	11.0	17,506	38.8	3,846	216	3,630
4	39,222	19,860	19,362	10,606	13,478	15,138	10.3	16,252	36.6	3,796	206	3,590

※小学校第1学年児童数には、義務教育学校第1学年児童数を含む。

(5) 教員数(本務者) [表2、統計表18・22]

ア 教員数(本務者)は**3,796**人で、前年度より**50**人(**1.3%**)減少している。

イ 男女別では、男**206**人(構成比**5.4%**)、女**3,590**人(**94.6%**)である。

2 幼保連携型認定こども園

(1) 園 数 [表3、統計表1・24]

ア 園数は547園で、前年度より18園増加している。

イ 設置者別では、公立90園(構成比16.5%)、私立457園(同83.5%)である。

(2) 学 級 数 [表3、統計表9・24]

ア 学級数は2,145学級で、前年度より43学級増加している。

イ 設置者別では、公立401学級(構成比18.7%)、私立1,744学級(同81.3%)である。

(3) 園 児 数 [表4、統計表11・24・25]

ア 園児数は62,254人(男32,005人、女30,249人)で、前年度より365人(0.6%)増加している。

イ 年齢別では、0歳児2,167人、1歳児6,896人、2歳児8,421人、3歳児14,395人、4歳児14,938人、5歳児15,437人で、前年度より0歳児で49人、1歳児で212人、2歳児で175人増加、3歳児で101人、4歳児で233人減少、5歳児で263人増加している。

(4) 修 了 者 数 [表4、統計表24・27・31]

ア 修了者数は15,570人で、前年度より525人(3.5%)増加している。

イ 本年度の小学校及び義務教育学校第1学年児童数に対する本年3月の幼保連携型認定こども園修了者数の比率は35.0%で、前年度より1.7ポイント上昇している。

表3 幼保連携型認定こども園の学校数及び学級数 (園、学級)

区分	学 校 数			学級数
	公立	私立		
平成30年度	409	64	345	1,654
令和元	449	76	373	1,835
2	501	87	414	2,010
3	529	89	440	2,102
4	547	90	457	2,145

表4 幼保連携型認定こども園の園児数及び修了者数

(人、%)

区分	園 児 数									教育・保育職員 (本務者)1人当 たりの園児数	修了者数	小学校第1学年 児童数に対するこ ども園修了者数の 比率※	教育・保育職員数(本務者)		
	男	女	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	男				女		
平成30年度	49,651	25,463	24,188	1,751	5,472	6,683	11,688	12,142	11,915	6.8	10,444	22.0	7,269	326	6,943
令和元	54,676	28,015	26,661	1,884	5,948	7,514	12,730	13,370	13,230	6.7	12,059	26.0	8,155	363	7,792
2	59,924	30,785	29,139	2,023	6,412	8,012	14,280	14,581	14,616	6.7	13,557	29.8	8,891	417	8,474
3	61,889	31,861	30,028	2,118	6,684	8,246	14,496	15,171	15,174	6.5	15,045	33.3	9,557	446	9,111
4	62,254	32,005	30,249	2,167	6,896	8,421	14,395	14,938	15,437	6.4	15,570	35.0	9,801	467	9,334

※小学校第1学年児童数には、義務教育学校第1学年児童数を含む。

(5) 教育・保育職員数(本務者) [表4、統計表18・24]

ア 教育・保育職員数(本務者)は9,801人で、前年度より244人(2.6%)増加している。

イ 男女別では、男467人(構成比4.8%)、女9,334人(同95.2%)である。

3 小 学 校

(1) 学 校 数 [表5、統計表1・26]

ア 学校数は742校で、前年度より5校減少している。

イ 設置者別では、国立2校(構成比0.3%)、公立729校(同98.2%)、私立11校(同1.5%)である。

(2) 学 級 数 [表5、統計表9・26]

ア 学級数は11,603学級で、前年度より47学級(0.4%)減少している。

イ 設置者別では、国立30学級(構成比0.3%)、公立11,451学級(同98.7%)、私立122学級(同1.1%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級9,450学級(構成比81.4%)、複式学級74学級(同0.6%)、特別支援学級2,079学級(同17.9%)である。

表5 小学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数			学 級 数			
	国立	公立	私立	単式	複式	特別支援	
平成30年度	764	2	751	11,903	9,962	74	1,867
令和元	761	2	748	11,862	9,864	75	1,923
2	754	2	741	11,746	9,678	81	1,987
3	747	2	734	11,650	9,559	76	2,015
4	742	2	729	11,603	9,450	74	2,079

(3) 児 童 数 [表6、図2、統計表11・26]

ア 児童数は275,186人で、前年度より3,314人(1.2%)減少している。平成19年度から16年連続して減少し、調査を開始した昭和23年度以降で最小となった。

イ 設置者別では、国立871人(構成比0.3%)、公立271,037人(同98.5%)、私立3,278人(同1.2%)である。

ウ 男女別では、男140,598人(構成比51.1%)、女134,588人(同48.9%)である。

エ 1学級当たりの児童数は23.7人で、近年減少傾向にあり、前年度より0.2人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの児童数は15.0人で、近年減少傾向にあり、前年度より0.2人減少している。

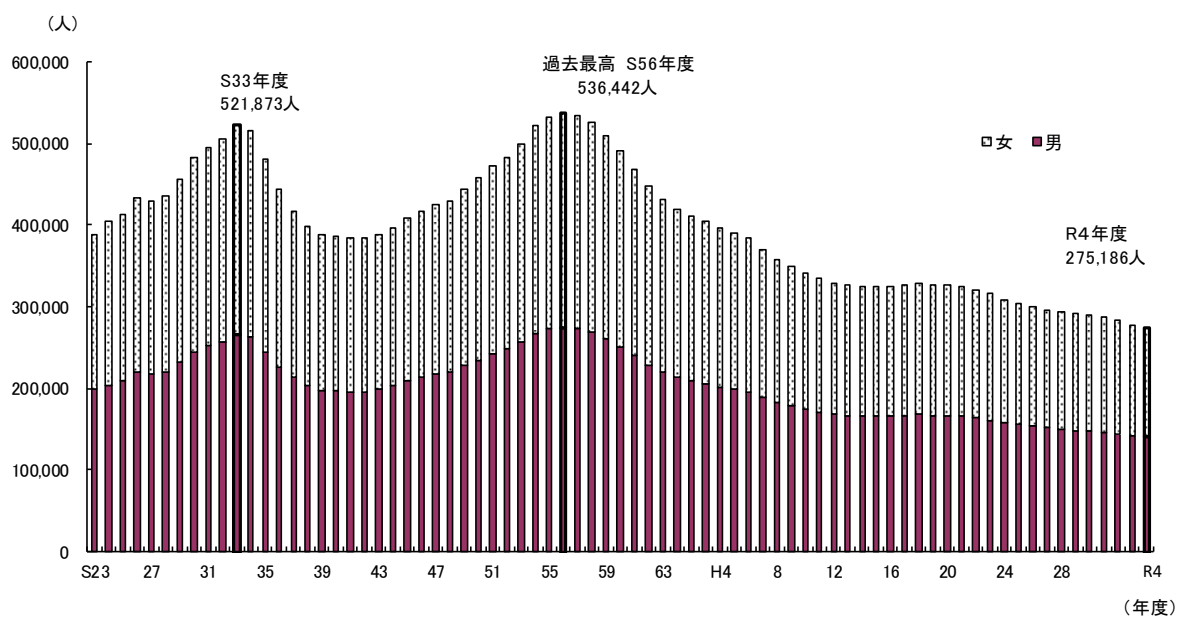
表6 小学校の児童数 (人)

区分	児 童 数			1学級当たり の児童数	教員(本務者)1人当 たりの児童数
	男	女			
平成30年度	290,093	148,279	141,814	24.4	15.6
令和元	287,019	146,754	140,265	24.2	15.4
2	282,758	144,098	138,660	24.1	15.3
3	278,500	142,267	136,233	23.9	15.2
4	275,186	140,598	134,588	23.7	15.0

(注)1 「1学級当たりの児童数」とは、児童数計を学級数計で割った数値である。

2 「教員1人当たりの児童数」とは、児童数計を教員数(本務者)計で割った数値である。

図2 小学校の児童数の推移



(4) 教員数(本務者) [表7、統計表18・26]

ア 教員数(本務者)は18,336人で、前年度より28人(0.2%)減少している。

イ 男女別では、男6,746人(構成比36.8%)、女11,590人(同63.2%)である。

表7 小学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成30年度	18,570	11,688
令和元	18,609	11,712
2	18,485	11,643
3	18,364	11,574
4	18,336	11,590

4 中 学 校

(1) 学 校 数 [表8、統計表1・28]

ア 学校数は376校で、前年度より4校減少している。

イ 設置者別では、国立1校(構成比0.3%)、公立332校(同88.3%)、私立43校(同11.4%)である。

(2) 学 級 数 [表8、統計表9・28]

ア 学級数は4,866学級で、前年度より9学級(0.2%)増加している。

イ 設置者別では、国立9学級(構成比0.2%)、公立4,489学級(同92.3%)、私立368学級(同7.6%)である。

ウ 学級編成別では、単式学級4,036学級(構成比82.9%)、特別支援学級830学級(同17.1%)である。

表8 中学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数			学 級 数				
	国立	公立	私立	単式	複式	特別支援		
平成30年度	387	1	343	43	4,839	4,136	—	703
令和元	386	1	342	43	4,810	4,086	—	724
2	383	1	339	43	4,785	4,031	—	754
3	380	1	336	43	4,857	4,063	—	794
4	376	1	332	43	4,866	4,036	—	830

(3) 生 徒 数 [表9、図3、統計表11・28]

ア 生徒数は141,997人で、前年度より1,078人(0.8%)減少している。

イ 設置者別では、国立289人(構成比0.2%)、公立129,314人(同91.1%)、私立12,394人(同8.7%)である。

ウ 男女別では、男72,570人(構成比51.1%)、女69,427人(同48.9%)である。

エ 1学級当たりの生徒数は29.2人で、近年減少傾向にあり、前年度より0.3人減少している。

オ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.7人で、前年度と同じである。

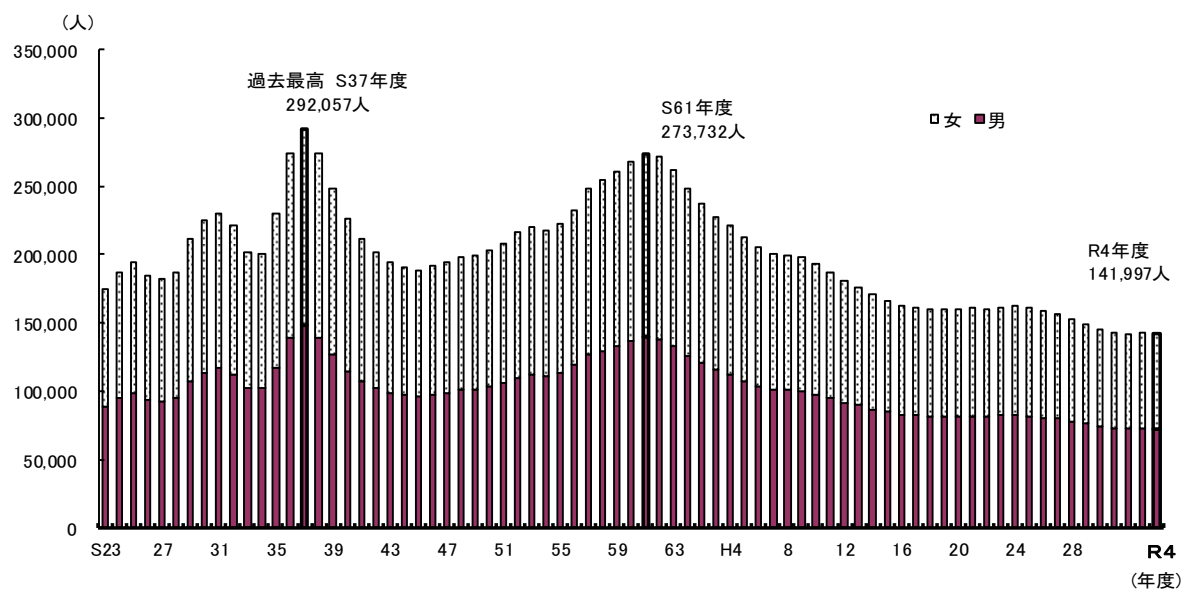
表9 中学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数			1学級当たりの生徒数	教員(本務者)1人当たりの生徒数
	男	女			
平成30年度	145,111	74,133	70,978	30.0	13.9
令和元	143,222	73,220	70,002	29.8	13.8
2	142,012	72,862	69,150	29.7	13.8
3	143,075	73,095	69,980	29.5	13.7
4	141,997	72,570	69,427	29.2	13.7

(注)1 「1学級当たりの生徒数」とは、生徒数計を学級数計で割った数値である。

2 「教員1人当たりの生徒数」とは、生徒数計を教員数(本務者)計で割った数値である。

図3 中学校の生徒数の推移



(4) 教員数(本務者) [表10、統計表18・28]

ア 教員数(本務者)は10,388人で、前年度より18人(0.2%)減少している。

イ 男女別では、男5,807人(構成比55.9%)、女4,581人(同44.1%)である。

表10 中学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)	
	男	女
平成30年度	10,469	4,461
令和元	10,388	4,473
2	10,316	4,479
3	10,406	4,556
4	10,388	4,581

5 義務教育学校

(1) 学校数 [表11、統計表1・30]

学校数は7校（公立7校）で、前年度と同じである。

(2) 学級数 [表11、統計表9・30]

ア 学級数は168学級で、前年度より3学級減少している。

イ 学級編成別では、単式学級134学級（構成比79.8%）、特別支援学級34学級（同20.2%）である。

表11 義務教育学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数		学 級 数			
	公立		単式	複式	特別支援	
令和2年度	6	6	153	125	—	28
3	7	7	171	137	—	34
4	7	7	168	134	—	34

(3) 児童・生徒数 [表12、統計表11・30]

ア 児童・生徒数は4,013人で、前年度より21人減少している。

イ 男女別では、男2,059人（構成比51.3%）、女1,954人（同48.7%）である。

ウ 1学級当たりの児童・生徒数は23.9人で、前年度より0.3人増加している。

エ 教員（本務者）1人当たりの児童・生徒数は12.3人で、前年度より0.1人増加している。

表12 義務教育学校の児童・生徒数 (人)

区分	児童・生徒数			1学級当たりの児童・生徒数	教員(本務者)1人当たりの児童・生徒数
	男	女			
令和2年度	3,666	1,881	1,785	24.0	12.5
3	4,034	2,085	1,949	23.6	12.2
4	4,013	2,059	1,954	23.9	12.3

(注)1 「1学級当たりの児童・生徒数」とは、児童・生徒数計を学級数計で割った数値である。

2 「教員1人当たりの児童・生徒数」とは、児童・生徒数計を教員数(本務者)計で割った数値である。

(4) 教員数(本務者) [表13、統計表18・30]

ア 教員数(本務者)は325人で、前年度より6人減少している。

イ 男女別では、男139人（構成比42.8%）、女186人（同57.2%）である。

表13 義務教育学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
令和2年度	294	125	169
3	331	140	191
4	325	139	186

6 高等学校（全日制・定時制）

（1）学 校 数 [表 14、統計表 1・4・32]

- ア 学校数は 205 校で、前年度と同じである。
- イ 設置者別では、公立 153 校（構成比 74.6%）、私立 52 校（同 25.4%）である。
- ウ 課程別では、全日制独立校 182 校（構成比 88.8%）、定時制独立校 13 校（同 6.3%）、全日制・定時制併置校 10 校（同 4.9%）である。

（2）学 級 数 [表 14、統計表 9・32]

学級数（教科外活動としてホームルーム活動を行うために編制されている公立学校本科の学級数）は 2,559 学級である。

表14 高等学校の学校数及び学級数 (校、学級)

区分	学 校 数						学級数
	設置者別		課程別				
	公立	私立	全日制	定時制	併置		
平成30年度	205	153	52	182	13	10	2,756
令和元	205	153	52	182	13	10	2,718
2	205	153	52	182	13	10	2,658
3	205	153	52	182	13	10	2,589
4	205	153	52	182	13	10	2,559

（3）生 徒 数 [表 15、図 4・5、統計表 11・12・32]

- ア 生徒数は 125,676 人で、前年度より 2,622 人(2.0%)減少している。
- イ 設置者別では、公立 93,330 人(構成比 74.3%)、私立 32,346 人(同 25.7%)である。
- ウ 男女別では、男 63,175 人(構成比 50.3%)、女 62,501 人(同 49.7%)である。
- エ 本科の生徒数は 125,518 人で、課程別にみると全日制 120,970 人(構成比 96.4%)、定時制 4,548 人(同 3.6%)である。
専攻科の生徒数は 158 人である。
- オ 本科の学科別生徒数をみると、普通科 93,666 人(構成比 74.6%)、総合学科 9,178 人(同 7.3%)、工業科 8,869 人(同 7.1%)、商業科 5,801 人(同 4.6%)の順となっている。
- カ 教員（本務者）1人当たりの生徒数は 13.0 人であり、前年度より 0.2 人減少している。

表15 高等学校の生徒数 (人)

区分	生 徒 数								教員(本務者)1人 当たりの生徒数
	男	女	本 科	専攻科	別科	本 科			
						全日制	定時制		
平成30年度	139,953	70,099	69,854	139,798	134,179	5,619	155	—	13.8
令和元	136,275	68,254	68,021	136,119	130,680	5,439	156	—	13.6
2	132,810	66,564	66,246	132,668	127,457	5,211	142	—	13.4
3	128,298	64,242	64,056	128,157	123,290	4,867	141	—	13.2
4	125,676	63,175	62,501	125,518	120,970	4,548	158	—	13.0

※ 「教員(本務者)1人当たりの生徒数」とは、生徒数計を教員数(本務者)計で割った数値である。

図4 高等学校の生徒数の推移

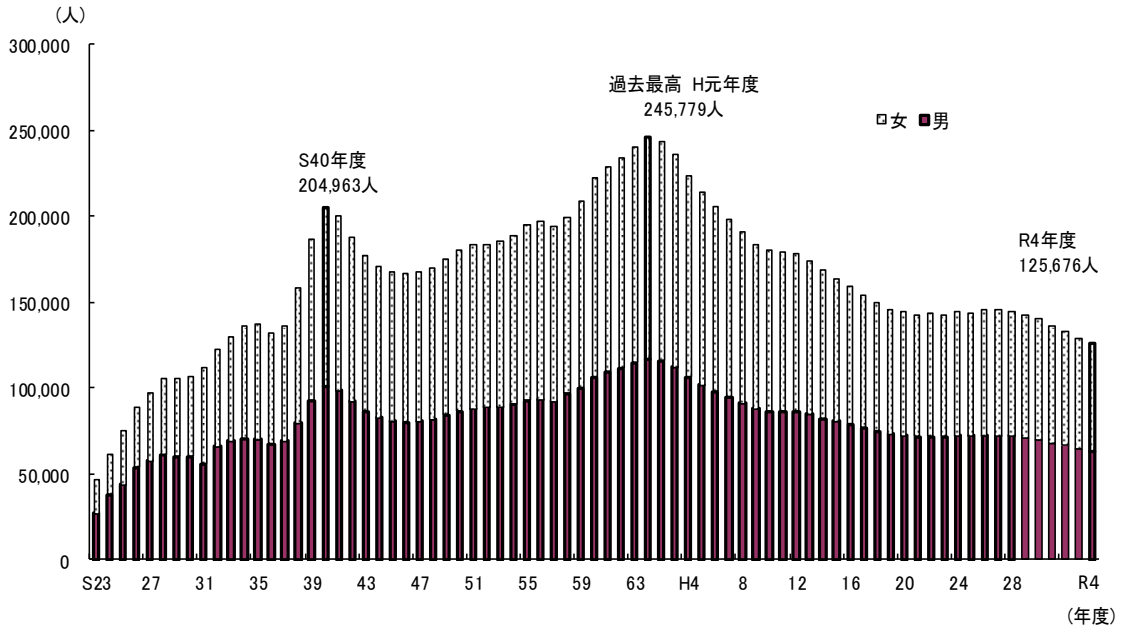
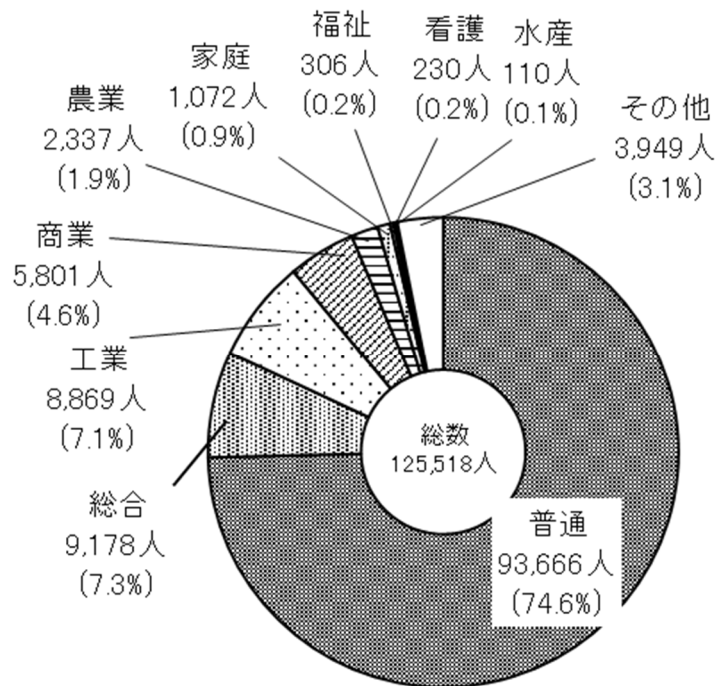


図5 高等学校(本科)の学科別生徒数



(4) 入学状況(本科) [表16、統計表16]

ア 入学志願者数は72,005人で、前年度より1,489人(2.1%)増加している。

イ 入学者数は42,320人で、前年度より639人(1.5%)増加している。

男女別では、男21,300人(構成比50.3%)、女21,020人(同49.7%)である。

ウ 入学者のうち他府県所在の中学校卒業者は634人(構成比1.5%)、過年度中学校卒業者は66人(同0.2%)である。

表16 高等学校(本科)の入学志願者数及び入学者数 (人、%)

区分	入学志願者数 a			入学者数 b			入学率 b/a×100		
	男	女		男	女		男	女	
計	72,005	36,019	35,986	42,320	21,300	21,020	58.8	59.1	58.4
公立	36,143	18,005	18,138	31,221	15,481	15,740	86.4	86.0	86.8
私立	35,862	18,014	17,848	11,099	5,819	5,280	30.9	32.3	29.6
全日制計	70,426	35,049	35,377	40,990	20,473	20,517	58.2	58.4	58.0
公立	34,564	17,035	17,529	29,891	14,654	15,237	86.5	86.0	86.9
私立	35,862	18,014	17,848	11,099	5,819	5,280	30.9	32.3	29.6
定時制計	1,579	970	609	1,330	827	503	84.2	85.3	82.6
公立	1,579	970	609	1,330	827	503	84.2	85.3	82.6
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※同一人が2以上の学校に入学志願した場合は、それぞれの学校の入学志願者として計上されるので、入学志願者数は延数である。

(5) 教員数(本務者) [表17、統計表18・32]

ア 教員数(本務者)は9,649人で、前年度より95人(1.0%)減少している。

イ 男女別では、男6,493人(構成比67.3%)、女3,156人(同32.7%)である。

表17 高等学校の教員数(本務者) (人)

区分	教員数(本務者)		
	男	女	
平成30年度	10,118	6,925	3,193
令和元	10,005	6,856	3,149
2	9,930	6,743	3,187
3	9,744	6,591	3,153
4	9,649	6,493	3,156

7 高等学校（通信制）

(1) 学校数 [表 18、統計表 1・35]

学校数は5校(公立2校、私立3校)で、前年度と同じである。

(2) 生徒数 [表 18、統計表 11・35]

生徒数は5,881人(男2,779人、女3,102人)で、前年度より339人(6.1%)増加している。

(3) 教員数(本務者) [表 18、統計表 18・35]

教員数(本務者)は120人(男68人、女52人)で、前年度より40人(25.0%)減少している。

表18 高等学校(通信制)の学校数、生徒数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	生徒数			教員数 (本務者)
		男	女		
平成30年度	5	4,463	2,232	2,231	157
令和元	5	4,802	2,356	2,446	161
2	5	4,994	2,371	2,623	141
3	5	5,542	2,627	2,915	160
4	5	5,881	2,779	3,102	120

8 中等教育学校

(1) 学校数 [表 19、統計表 1・36]

学校数は2校(国立1校、公立1校)で、前年度と同じである。

(2) 学級数 [表 19、統計表 9・36]

学級数は21学級(前期課程15学級、後期課程6学級)で、前年度と同じである。

(3) 生徒数 [表 19、統計表 11・36]

生徒数は1,186人(男515人、女671人)で、前年度と同じである。

(4) 教員数(本務者) [表 19、統計表 18・36]

教員数(本務者)は90人(男52人、女38人)で、前年度より1人(1.1%)減少している。

表19 中等教育学校の学校数、学級数、生徒数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	前期課程				後期課程				教員数 (本務者)
		学級数	生徒数		学級数	生徒数				
			男	女		男	女			
平成30年度	2	15	611	246	365	6	707	286	421	102
令和元	2	16	614	258	356	6	633	256	377	94
2	2	15	602	269	333	6	603	235	368	91
3	2	15	606	271	335	6	580	233	347	91
4	2	15	602	266	336	6	584	249	335	90

※中等教育学校とは、平成10年の学校教育法の改正により創設され、本県では平成15年度から設置されている。

9 特別支援学校

学校教育法の一部改正に伴い、平成19年4月1日から盲・聾・養護学校が「特別支援学校」に一本化された。

(1) 学校数 [表20、統計表1・38]

学校数は48校(国立1校、県立28校、市立19校)で、前年度より1校増加している。

(2) 学級数 [表20、統計表9・38]

学級数は1,607学級で、前年度より2学級増加している。

(3) 在学者数 [表20、図6、統計表11・38]

ア 在学者数は6,029人(男4,003人、女2,026人)で、前年度より120人(2.0%)増加し、過去最高となっている。

イ 学部別在園者数は幼稚園部46人、小学部1,673人、中学部1,474人、高等部2,836人である。

ウ 教員(本務者)1人あたりの在学者数は1.57人である。

(4) 教員数(本務者) [表20、統計表18・38]

ア 教員数(本務者)は3,833人で、前年度より14人(0.4%)減少している。

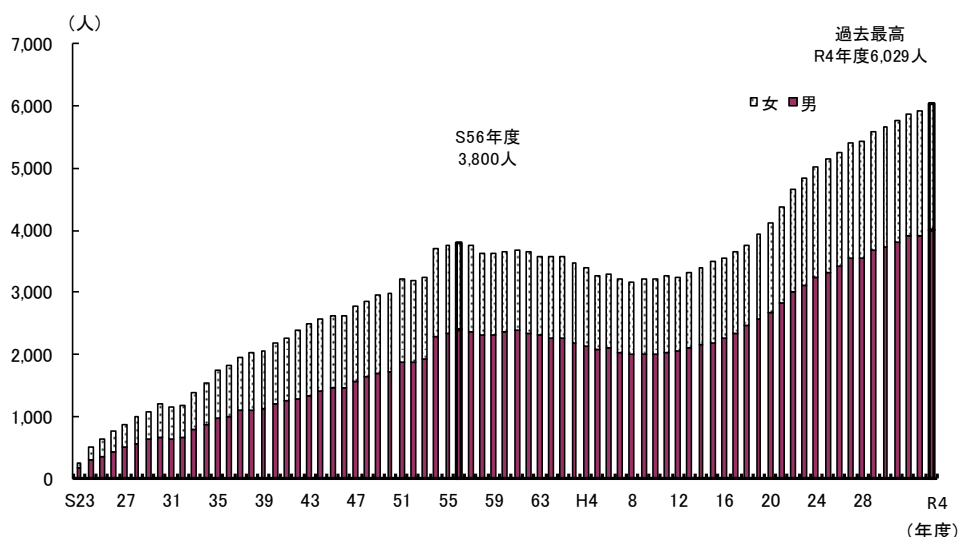
イ 男女別では、男1,530人(構成比39.9%)、女2,303人(同60.1%)である。

表20 特別支援学校の学校数、学級数、在学者数及び教員数(本務者) (校、学級、人)

区分	学校数	学級数	在学者数				教員(本務者)1人 当たりの在学者数	教員数 (本務者)	
			幼稚園部	小学部	中学部	高等部			
平成30年度	47	1,513	5,670	44	1,356	1,271	2,999	1.55	3,657
令和元	47	1,530	5,766	51	1,406	1,303	3,006	1.53	3,768
2	47	1,559	5,879	46	1,518	1,359	2,956	1.54	3,813
3	47	1,605	5,909	54	1,572	1,458	2,825	1.54	3,847
4	48	1,607	6,029	46	1,673	1,474	2,836	1.57	3,833

※「教員1人当たりの在学者数」とは、在学者数計を教員数(本務者)計で割った数値である。

図6 特別支援学校の在学者数の推移



10 専修学校

(1) 学校数 [表21、統計表1・41]

学校数は94校(国立1校、公立8校、私立85校)で、前年度より4校減少している。

(2) 生徒数 [表21、図7、統計表7・41]

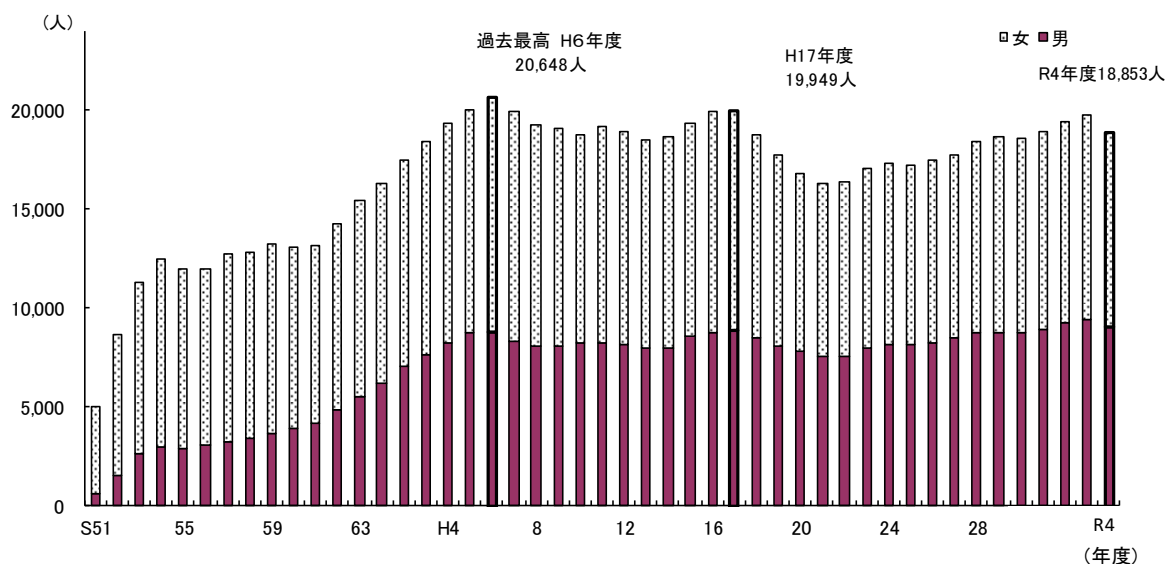
生徒数は18,853人(男9,027人、女9,826人)で、前年度より895人(4.5%)減少している。

表21 専修学校の学校数及び生徒数

(校、人)

区分	学 校 数				生 徒 数					
	国立	公立	私立		男	女	高等課程	専門課程	一般課程	
平成30年度	97	1	8	88	18,587	8,743	9,844	1,584	16,993	10
令和元	97	1	8	88	18,958	8,946	10,012	1,631	17,327	-
2	96	1	8	87	19,468	9,252	10,216	1,449	18,015	4
3	98	1	8	89	19,748	9,454	10,294	1,509	18,234	5
4	94	1	8	85	18,853	9,027	9,826	1,642	17,201	10

図7 専修学校の生徒数の推移



(3) 教員数(本務者) [表22、統計表41]

ア 教員数(本務者)は1,250人で、前年度より22人(1.8%)増加している。

イ 男女別では、男616人(構成比49.3%)、女634人(同50.7%)である。

表22 専修学校の教員数(本務者)

(人)

区分	教員数(本務者)		
		男	女
平成30年度	1,219	591	628
令和元	1,208	575	633
2	1,215	592	623
3	1,228	603	625
4	1,250	616	634

1 1 各種学校

(1) 学 校 数 [表 23、統計表 1・42]

学校数は 74 校(すべて私立校)で、前年度より 1 校減少している。

(2) 生 徒 数 [表 23、図 8、統計表 8・42]

生徒数は 6,744 人(男 3,325 人、女 3,419 人)で、前年度より 118 人(1.7%)減少している。

(3) 教 員 数 (本務者) [表 23、統計表 42]

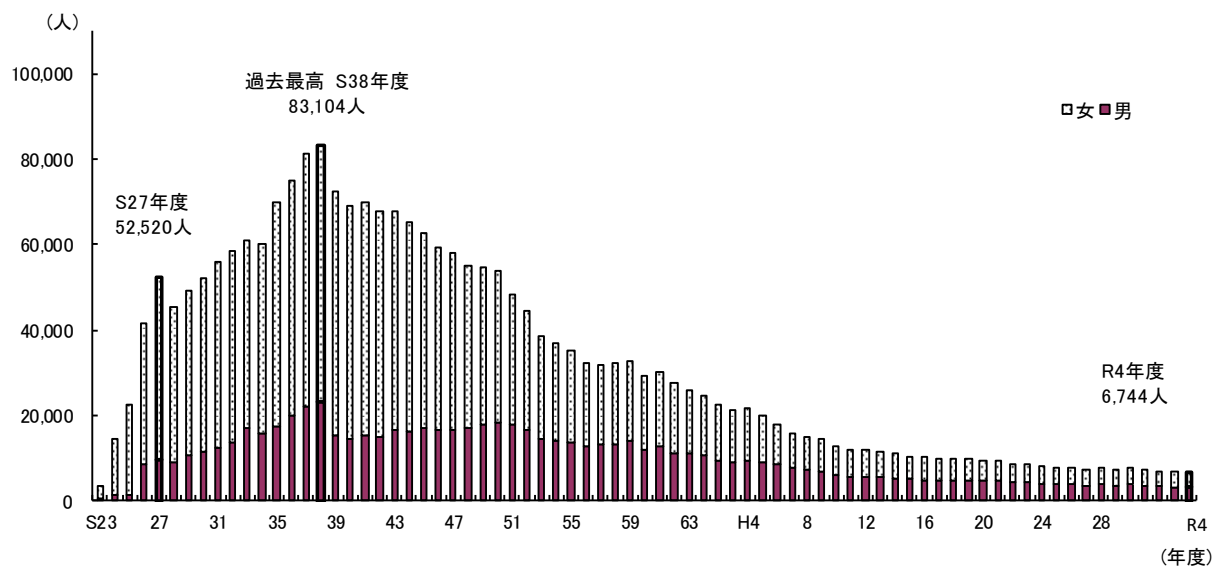
ア 教員数(本務者)は 480 人で、前年度より 6 人(1.3%)増加している。

イ 男女別では、男 246 人(構成比 51.3%)、女 234 人(同 48.8%)である。

表23 各種学校の学校数、生徒数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	生 徒 数			教員数(本務者)		
		男	女	男	女		
平成30年度	80	7,853	3,883	3,970	497	259	238
令和元	76	7,436	3,625	3,811	498	251	247
2	75	7,102	3,491	3,611	487	250	237
3	75	6,862	3,319	3,543	474	252	222
4	74	6,744	3,325	3,419	480	246	234

図 8 各種学校の生徒数の推移



Ⅱ 卒業後の状況調査

1 中学校

(1) 卒業者数 [表 24、図 10、統計表 64・77]

- ア 本年3月の卒業生数は47,681人で、前年より1,047人(2.2%)増加している。
- イ 男女別では、男24,384人(構成比51.1%)、女23,297人(同48.9%)である。
- ウ 設置者別では、国立76人(構成比0.2%)、公立43,522人(同91.3%)、私立4,083人(同8.6%)である。

(2) 卒業者の進路状況 [表 24、図 10、統計表 64・77]

- ア 高等学校等進学者は47,075人で、前年より984人(2.1%)増加している。
男女別では、男24,063人(構成比51.1%)、女23,012人(同48.9%)である。
高等学校等進学率は98.7%で、前年より0.1ポイント低下した。これを男女別にみると、男98.7%、女98.8%である。
進路別にみると、高等学校本科が43,611人(構成比92.6%)と最も多く、次いで高等学校通信制2,564人(同5.4%)、特別支援学校高等部493人(同1.0%)の順となっている。
高等学校等進学者のうち、他県への進学者は4,646人(男2,551人、女2,095人)で、全体の9.9%である。
- イ 専修学校(高等課程)進学者は180人(男81人、女99人)で、前年より11人(6.5%)増加している。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は59人(男33人、女26人)で、前年より4人(7.3%)増加している。

表24 中学校の状況別卒業生数

区分	計	(人、%)										
		高等学校等進学者 A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者E(左記A～Dを除く) E	左記以外の者	不詳・死亡の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者	高等学校等進学率	卒業者に占める就職者の割合
平成30年3月	51,201	50,589	130	49	10	86	304	15	2	3	98.8	0.2
31	49,587	48,969	126	44	11	92	309	10	7	4	98.8	0.2
令和2	48,624	48,050	146	36	10	72	286	8	7	2	98.8	0.2
3	46,634	46,091	169	55	7	59	239	-	2	3	98.8	0.1
4	47,681	47,075	180	59	9	44	300	3	4	2	98.7	0.1

(注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部の本科、別科、及び高等専門学校に進学した者である。また、進学しかつ就職した者を含む。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程又は各種学校に入学した者である。

3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者である。

4 「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」+「有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者」の占める比率をいう。

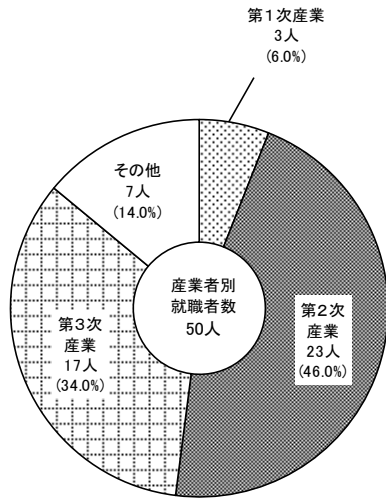
(3) 就職者数 [表24、図9・10、統計表64・66・77]

ア 就職者総数は50人(就職者44人、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者2人、高等学校等進学者、専修学校(高等課程)進学者、専修学校(一般課程)等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者4人)で、前年より14人(21.9%)減少している。

イ 卒業者に占める就職者の割合は0.1%(男0.2%、女0.0%)である。

就職者を産業別にみると、第2次産業が23人(構成比46.0%)で最も多く、次いで第3次産業が17人(同34.0%)、第1次産業3人(同6.0%)、その他7人(同14.0%)となっている。

図9 中学校卒業者の産業別就職者数



(注)①第1次産業とは、農業、林業、漁業をいう。

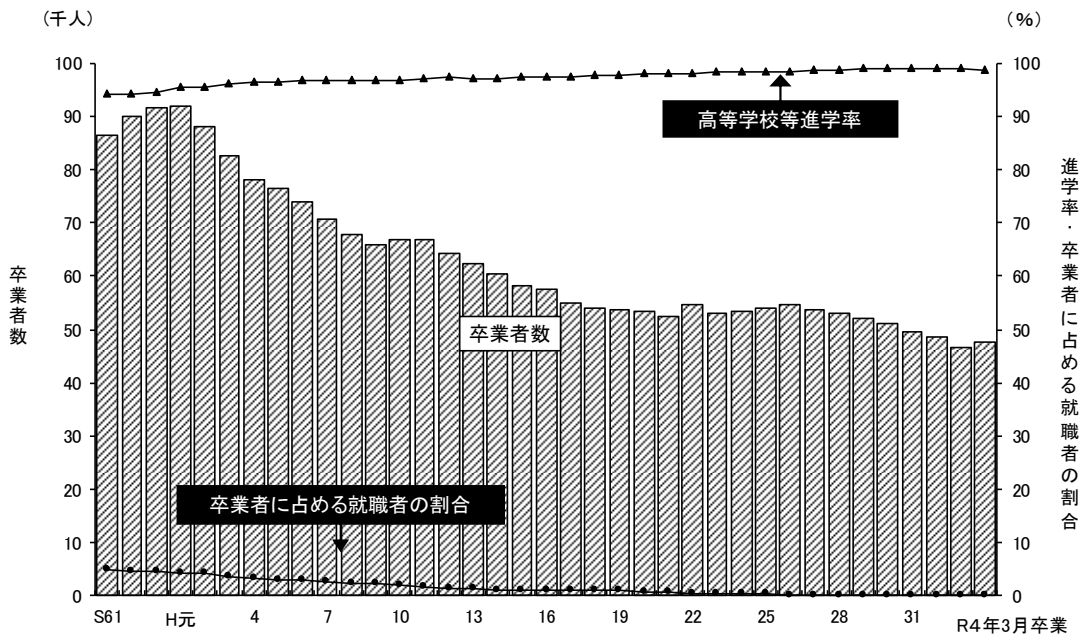
第2次産業とは、鉱業、採石業、砂利採取業、建設業、製造業をいう。

第3次産業とは、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、金融業、保険業、不動産業、物品賃貸業、学術研究、専門・技術サービス業、宿泊業、飲食サービス業、娯楽業、教育学習支援業、医療、福祉、複合サービス事業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されるものを除く)をいう。

その他とは、分類不能の産業及び、就職先の産業別が不明の者

②産業別就職者には、自営業者等、無期雇用労働者、進学者のうち就職している者及び有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上等の者を含む。

図10 中学校の卒業生数、進学率、卒業者に占める就職者の割合



2 高等学校（全日制・定時制）

（1）卒業生数 [表25、図12、統計表68・78]

- ア 本年3月の卒業生数は**42,454**人で、前年より**1,503**人(3.4%)減少している。
- イ 男女別では、男**21,099**人(構成比**49.7%**)、女**21,355**人(同**50.3%**)である。
- ウ 設置者別では、公立**31,755**人(構成比**74.8%**)、私立**10,699**人(同**25.2%**)である。

（2）卒業生の進路状況 [表25・26、図12、統計表68・70・78]

- ア 大学等進学者は**28,004**人で、前年より**281**人(1.0%)減少している。
男女別では、男**13,460**人(構成比**48.1%**)、女**14,544**人(同**51.9%**)である。
大学等進学率は**66.0%**で、これを男女別にみると、男**63.8%**、女**68.1%**で、女子が男子を**4.3**ポイント上回っている。
進路別にみると、大学(学部)への進学者が**26,515**人(構成比**94.7%**)と最も多く、次いで短期大学(本科)への進学者が**1,390**人(同**5.0%**)、高等学校(専攻科)**81**人(同**0.3%**)の順となっている。
- イ 専修学校(専門課程)進学者は**5,474**人(男**2,023**人、女**3,451**人)で前年より**731**人(11.8%)減少し、専修学校(専門課程)進学率は**12.9%**である。
- ウ 専修学校(一般課程)等入学者は**2,455**人(男**1,431**人、女**1,024**人)で、前年より**244**人(11.0%)増加している。
- エ 大学等への志願状況は、大学学部への志願率が**67.3%**で前年より**2.1**ポイント上昇し、短期大学本科への志願率が**3.4%**で、前年より**0.7**ポイント低下している。

表25 高等学校の状況別卒業生数

区分	計	(人、%)										
		大学等進学者 A	専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者E(左記A～Dを除く) E	左記以外の者	不詳・死亡の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者	大学等進学率	卒業者に占める就職者の割合
平成30年3月	46,333	28,086	6,123	3,096	76	6,500	1,937	13	1	…	60.6	14.0
31	45,882	27,943	6,185	2,900	98	6,414	1,967	11	3	…	60.9	14.0
令和2	44,846	28,046	6,327	2,226	85	6,007	1,912	15	2	35	62.5	13.5
3	43,957	28,285	6,205	2,211	77	5,482	1,544	-	2	20	64.3	12.5
4	42,454	28,004	5,474	2,455	79	4,846	1,409	1	-	43	66.0	11.5

- (注)1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校の専攻科又は特別支援学校高等学校の専攻科への進学者である。また、進学し就職した者を含む。
- 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者である。
- 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者である。
- 4 平成31年度以前の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める比率をいう。
- 5 令和2年度以後の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」+「有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者」の占める比率をいう。

表26 高等学校卒業生の大学等入学志願者数

区分	卒業生数 A	(人、%)					
		計		大学(学部)		短期大学(本科)	
		入学志願者 B	志願率 B/A×100	入学志願者 C	志願率 C/A×100	入学志願者 D	志願率 D/A×100
平成30年3月	46,333	31,974	69.0	29,919	64.6	2,055	4.4
31	45,882	31,507	68.7	29,508	64.3	1,999	4.4
令和2	44,846	30,779	68.6	28,740	64.1	2,039	4.5
3	43,957	30,470	69.3	28,653	65.2	1,817	4.1
4	42,454	29,983	70.6	28,551	67.3	1,432	3.4

(3) 就職者数 [表 25、図 11・12、統計表 68・72・73・74・78]

ア 就職者総数は 4,889 人(就職者 4,846 人、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者 43 人)である。

イ 卒業者に占める就職者の割合は 11.5%(男 15.4%、女 7.7%)である。

ウ 就職者のうち自家・自営業については 100 人(構成比 2.0%)、職業安定所又は学校を通じて就職した者は 2,555 人(52.3%)である。

エ 就職者を職業別にみると、「生産工程従事者」が 2,191 人(構成比 44.8%)で最も多く、次いで「サービス職業従事者」578 人(同 11.8%)、「事務従事者」が 431 人(同 8.8%)の順となっている。

オ 産業別では、「製造業」が 2,166 人(構成比 44.3%)と最も多く、次いで「建設業」415 人(同 8.5%)、「卸売・小売業」377 人(同 7.7%)の順となっている。

カ 県外へ就職した者は 752 人(男 532 人、女 220 人)で、全体の 15.4%である。

図 11 高等学校卒業者の産業別就職者数

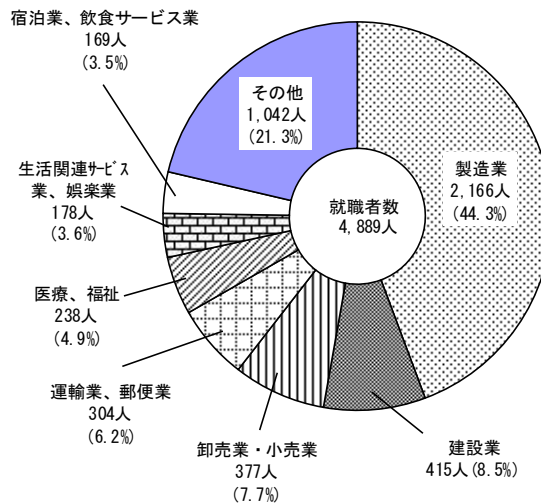
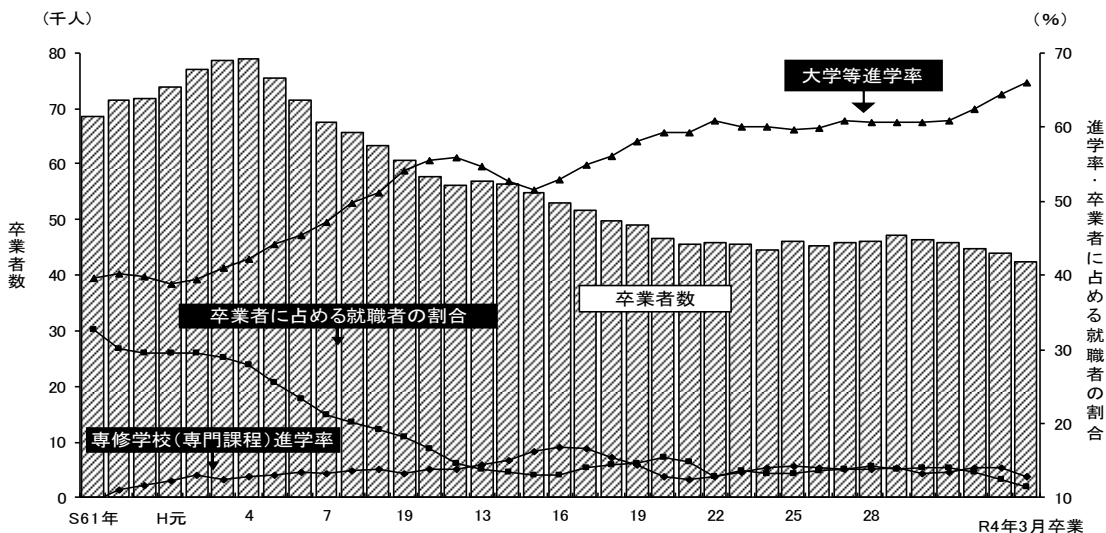


図 12 高等学校の卒業生数、進学率、卒業者に占める就職者の割合



3 高等学校（通信制）

（1）卒業生数 [表27、統計表69]

- ア 本年3月の卒業生数は2,134人で、前年より457人(27.3%)増加している。
 イ 男女別では、男980人(構成比45.9%)、女1,154人(同54.1%)である。

（2）卒業生の進路状況 [表27、統計表69]

- ア 大学等進学者は646人であり、男女別では、男312人(構成比48.3%)、女334人(同51.7%)である。
 大学等進学率は30.3%（男31.8%、女28.9%）である。
 イ 専修学校（専門課程）進学者は524人(男230人、女294人)で、前年より76人(17.0%)増加している。
 ウ 専修学校（一般課程）等入学者は8人(男5人、女3人)で、前年より5人(38.5%)減少している。
 エ 就職者数は311人(就職者240人、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者68人、大学等進学者、専修学校（専門課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者3人)である。

表27 高等学校(通信制)の状況別卒業生数

区分	計											(人、%)	
		大学等 進学者 A	専修学校 (専門課程) 進学者 B	専修学校 (一般課程) 等入学者 C	公共職業 能力開発 施設等 入学者 D	就職者E (左記A～ Dを除く) E	左記以外 の者	不詳・死 亡の者	左記A～D のうち就 職してい る者 (再掲)	有期雇用労働者 のうち雇用契約 期間が一年以上 かつフルタイム 勤務相当の者	大学等 進学率	卒業者に占 める就職者 の割合	
平成30年3月	1,424	345	270	22	12	315	460	-	-	...	24.2	22.1	
31	1,475	350	336	24	12	287	466	-	-	...	23.7	19.5	
令和2	1,721	412	436	58	27	334	393	2	-	-	23.9	19.4	
3	1,677	481	448	13	5	271	430	-	3	6	28.7	16.7	
4	2,134	646	524	8	18	240	576	-	3	68	30.3	14.6	

- 主) 1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校の専攻科又は特別支援学校高等部の専攻科への進学者である。また、進学しかつ就職した者を含む。
 2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者である。
 3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかな者である。
 4 平成31年度以前の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める比率をいう。
 5 令和2年度以後の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」+「有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者」の占める比率をいう。

4 特別支援学校

(1) 中 学 部 [表 28、統計表 67]

ア 本年3月の卒業生数は**469**人で、前年より**62**人(**15.2%**)増加している。

イ 男女別では、男**291**人(構成比**62.0%**)、女**178**人(同**38.0%**)である。

表28 特別支援学校(中学部)の状況別卒業生数

区分	計	(人、%)											
		高等学校等進学者 A	専修学校(高等課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者E(左記A～Dを除く) E	左記以外の者 F	不詳・死亡の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	高等学校等進学率	卒業者に占める就職者の割合
平成30年3月	460	452	1	-	-	-	7	-	-	...	1	98.3	-
31	442	438	2	-	-	-	2	-	-	...	1	99.1	-
令和2	433	430	-	-	-	-	3	-	-	-	1	99.3	-
3	407	401	-	-	-	-	5	1	-	-	2	98.5	-
4	469	465	-	-	-	-	4	-	-	-	3	99.1	-

(注)1 「高等学校等進学者」とは、高等学校、中等教育学校後期課程、特別支援学校高等部の本科、別科又は高等専門学校に進学した者である。

なお、進学しかつ就職した者を含む。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校の一般課程又は各種学校に入学した者である。

3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の高等学校等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかなる者である。

4 平成31年度以前の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める比率をいう。

5 令和2年度以後の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」

+「有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者」の占める比率をいう。

(2) 高 等 部 [表 29、統計表 75・76]

ア 本年3月の卒業生数は**941**人で、前年より**49**人(**4.9%**)減少している。

イ 男女別では、男**616**人(構成比**65.5%**)、女**325**人(同**34.5%**)である。

ウ 大学等進学者は**5**人(男**3**人、女**2**人)である。

エ 社会福祉施設等入所、通所者は**624**人(男**392**人、女**232**人)で、その内訳は、障害者支援施設等に**612**人(構成比**98.1%**)、児童福祉施設**6**人(同**1.0%**)、医療機関**6**人(同**1.0%**)である。

表29 特別支援学校(高等部)の状況別卒業生数

区分	計	(人、%)											
		大学等進学者 A	専修学校(専門課程)進学者 B	専修学校(一般課程)等入学者 C	公共職業能力開発施設等入学者 D	就職者E(左記A～Dを除く) E	左記以外の者 F	不詳・死亡の者	左記A～Dのうち就職している者(再掲)	有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者	左記Fのうち社会福祉施設等入所、通所者(再掲)	大学等進学率	卒業者に占める就職者の割合
平成30年3月	959	10	-	2	31	210	704	2	-	...	681	1.0	21.9
31	934	7	-	-	26	232	668	1	-	...	642	0.7	24.8
令和2	973	8	3	1	32	130	673	1	-	38	634	0.8	17.3
3	990	9	1	-	38	74	679	-	-	65	644	0.9	14.0
4	941	5	3	2	26	65	676	-	-	61	624	0.5	13.4

(注)1 「大学等進学者」とは、大学の学部・通信教育部・別科、短期大学の本科・通信教育部・別科、高等学校の専攻科又は特別支援学校高等部の専攻科へ進学した者である。なお、進学しかつ就職した者を含む。

2 「専修学校(一般課程)等入学者」とは、専修学校(一般課程)又は各種学校へ入学した者である。

3 「左記以外の者」とは、家事手伝いをしている者、外国の大学等に入学した者又はA～Eの各項目に該当しない者で進路が未定であることが明らかなる者である。

4 平成31年度以前の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」の占める比率をいう。

5 令和2年度以後の「卒業者に占める就職者の割合」とは、卒業者のうち「就職者E」+「左記A～Dのうち就職している者(再掲)」

+「有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上かつフルタイム勤務相当の者」の占める比率をいう。

Ⅲ 不就学学齡児童生徒調査 [表 30、統計表 79・80]

ア 不就学学齡児童生徒の総数は 193 人(就学免除者 138 人、就学猶予者 55 人)で、前年度より 18 人(10.3%)増加している。

イ 1年以上の居所不明者は 3 人で、前年度と同じである。

ウ 令和 3 年度間の学齡児童生徒死亡者数は 26 人で、前年度間より 7 人増加している。

表30 不就学学齡児童生徒数

(人)

区分	計		就学免除者				就学猶予者				1年以上 居所不明	死亡	
			男		女		男		女				
			計	6～11歳	12～14歳	計	6～11歳	12～14歳	計	6～11歳			12～14歳
平成30年度	167	103	39	20	33	11	64	30	12	16	6	11	22
令和元	194	130	48	21	40	21	64	29	12	13	10	2	20
2	185	133	52	15	47	19	52	17	13	13	9	1	21
3	175	124	40	21	41	22	51	16	11	17	7	3	19
4	193	138	40	22	52	24	55	19	13	16	7	3	26

IV 高等教育機関

1 大 学

(1) 学 校 数 [表 31、統計表 82・83]

学校数は 35 校で、前年度より 1 校減少している。

(2) 学 生 数 [表 31、統計表 84]

ア 学生数は 125,456 人(学部 115,032 人、大学院 9,204 人、専攻科・別科・その他 1,220 人)で、前年度より 361 人減少している。

イ 設置者別では、国立 17,823 人(構成比 14.2%)、公立 9,480 人(同 7.6%)、私立 98,153 人(同 78.2%)で、前年度より国立は 58 人増加し、公立は 27 人増加し、私立は 446 人減少している。

ウ 男女別では、男は 55,559 人(構成比 44.3%)で前年度より 116 人減少し、女は 69,897 人(同 55.7%)で 245 人減少している。

(3) 教 員 数(本務者) [表 31、統計表 84]

教員数(本務者)は 6,807 人で、前年度より 48 人減少している。

表31 大学の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数				教員数 (本務者)	
		男	女	うち学部	うち大学院		
平成30年度	37	125,927	56,071	69,856	115,085	9,052	6,842
令和元	37	126,762	56,200	70,562	115,811	9,225	6,810
2	36	126,728	55,920	70,808	116,299	9,233	6,873
3	36	125,817	55,675	70,142	115,536	9,142	6,855
4	35	125,456	55,559	69,897	115,032	9,204	6,807

(4) 学部学生数及び大学院学生数 [表 32、統計表 86・89]

ア 学部学生数は 115,032 人(男 49,514 人、女 65,518 人)で、前年度より 504 人(0.4%)減少している。

関係分野別にみると、「社会科学関係」38,173 人(構成比 33.2%)が最も多く、次いで「人文科学関係」19,535 人(同 17.0%)、「保健関係」17,197 人(同 14.9%)の順となっている。

昼夜別では、昼間 114,640 人(構成比 99.7%)、夜間 392 人(同 0.3%)である。

イ 大学院学生数は 9,204 人で、前年度より 62 人(0.7%)増加している。

課程別にみると、修士課程 5,537 人(男 3,176 人、女 2,361 人)、博士課程 2,657 人(男 1,619 人、女 1,038 人)、専門職学位課程 1,010 人(男 691 人、女 319 人)である。

関係分野別では、「工学関係」1,695 人(構成比 18.4%)が最も多く、次いで「社会科学関係」1,586 人(同 17.2%)、「保健関係」1,427 人(同 15.5%)の順となっている。

表32 大学の関係分野別学生数

(人、%)

区分	学 部				大 学 院			
	男	女	構成比		男	女	構成比	
計	115,032	49,514	65,518	100.0	9,204	5,486	3,718	100.0
人文科学関係	19,535	4,676	14,859	17.0	886	306	580	9.6
社会科学関係	38,173	23,407	14,766	33.2	1,586	1,015	571	17.2
理 学 関 係	1,995	1,444	551	1.7	581	431	150	6.3
工 学 関 係	7,116	5,096	2,020	6.2	1,695	1,405	290	18.4
農 学 関 係	1,350	724	626	1.2	324	162	162	3.5
保 健 関 係	17,197	4,920	12,277	14.9	1,427	735	692	15.5
商 船 関 係	882	748	134	0.8	-	-	-	-
家 政 関 係	4,561	-	4,561	4.0	60	3	57	0.7
教 育 関 係	7,857	1,781	6,076	6.8	880	407	473	9.6
芸 術 関 係	337	1	336	0.3	11	-	11	0.1
そ の 他	16,029	6,717	9,312	13.9	1,754	1,022	732	19.1

(5) 学部学生の入学状況 [表 33、統計表 87・88]

ア 大学学部への入学志願者数は 163,172 人で、前年度より 6,220 人(3.7%)減少している。

男女別では、男 70,753 人(構成比 43.4%)、女 92,419 人(同 56.6%)である。

イ 入学者数は 27,342 人で、前年度より 292 人(1.1%)増加している。

男女別では、男 11,811 人(構成比 43.2%)、女 15,531 人(同 56.8%)である。

入学者のうち 13,380 人(男 5,682 人、女 7,698 人)が県内高等学校出身者であり、全体の 48.9%である。

表33 大学(学部)の入学志願者数及び入学者数

(人、%)

区分	入学志願者数	入学者数		
			うち県内高校 出身者数	
計	163,172	27,342	13,380	(48.9)
男	70,753	11,811	5,682	(48.1)
女	92,419	15,531	7,698	(49.6)

※()は構成比

2 短期大学

(1) 学 校 数 [表 34、統計表 90・91]

学校数は15校(すべて私立校)で、前年度と同じである。

(2) 学 生 数 [表 34、統計表 92]

ア 学生数は4,820人(本科4,755人、専攻科33人、その他32人)で、前年度より676人(12.3%)減少している。

イ 男女別では、男は681人(構成比14.1%)で前年度より99人減少し、女は4,139人(同85.9%)で577人減少している。

(3) 教 員 数 (本務者) [表 34、統計表 92]

教員数(本務者)は310人で、前年度より8人減少している。

表34 短期大学の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数			教員数 (本務者)
		男	女	うち本科	
平成30年度	17	6,247	780	5,467	353
令和元	17	5,948	789	5,159	335
2	17	5,914	863	5,051	318
3	15	5,496	780	4,716	318
4	15	4,820	681	4,139	310

(4) 本科学学生数 [表 35、統計表 92・94]

ア 本科学学生数は4,755人(男675人、女4,080人)で、前年度より684人(12.6%)減少している。

イ 関係分野別にみると、「教育関係」2,023人(構成比42.5%)が最も多く、次いで「家政関係」651人(同13.7%)、「芸術関係」625人(同13.1%)、「工業関係」417人(同8.8%)の順となっている。

表35 短期大学の関係分野別本科学学生数

区分	学 生 数			構成比
	男	女		
計	4,755	675	4,080	100.0
人 文	285	-	285	6.0
工 業	417	383	34	8.8
農 業	61	34	27	1.3
保 健	391	-	391	8.2
家 政	651	5	646	13.7
教 育	2,023	76	1,947	42.5
芸 術	625	128	497	13.1
その他	302	49	253	6.4

(5) 本科学学生の入学状況 [表 36、統計表 95・96]

ア 短期大学の本科への入学志願者数は4,508人で、前年度より956人(17.5%)減少している。男女別では、男427人(構成比9.5%)、女4,081人(同90.5%)である。

イ 入学者数は2,054人で、前年度より239人(10.4%)減少している。

男女別では、男317人(構成比15.4%)、女1,737人(同84.6%)である。

入学者のうち1,222人(男125人、女1,097人)が県内高等学校出身者であり、全体の59.5%である。

表36 短期大学(本科)の入学志願者数及び入学者数 (人、%)

区分	入学志願者数	入学者数		
			うち県内高校出身者数	
計	4,508	2,054	1,222	(59.5)
男	427	317	125	(39.4)
女	4,081	1,737	1,097	(63.2)

※()は構成比

3 高等専門学校

(1) 学 校 数 [表 37、統計表 97]

- ア 学校数は2校で、前年度と同じである。
- イ 設置者別では、国立1校、公立1校である。

(2) 学 生 数 [表 37、統計表 98]

- ア 学生数は2,138人(本科2,038人、専攻科96人、その他4人)で、前年度より8人減少している。
- イ 男女別では、男1,707人(構成比79.8%)、女431人(同20.2%)である。

(3) 教 員 数(本務者) [表 37、統計表 98]

教員数(本務者)は160人で、前年度と同じである。

表37 高等専門学校の学校数、学生数及び教員数(本務者) (校、人)

区分	学校数	学 生 数					教員数(本務者)	
		男	女	本科	専攻科	その他		
平成30年度	2	2,190	1,824	366	2,060	125	5	166
令和元	2	2,154	1,784	370	2,042	108	4	162
2	2	2,164	1,770	394	2,053	110	1	158
3	2	2,146	1,736	410	2,049	97	-	160
4	2	2,138	1,707	431	2,038	96	4	160

(4) 本科学生の入学状況 [統計表 100]

- ア 入学志願者数は630人で、前年度より47人増加している。
- イ 入学者数は409人で、うち令和4年3月(新規)中学校卒業者は407人(構成比99.5%)である。